

Go Beyond～今の自分を超えてゆけ！～

令和 8 年 6 月 19 日  
姫路市立高校  
校長通信 第 11 号  
文責 平山智樹

# 校長漫筆記

## 「心を開き、近づき合う」～1秒の言葉が持つパワー～

先日、本校を支えてくださる地域代表やPTA、姫路高校OB・元職員による「学校評議員会」が開催されました。その席上、皆様からリクエストをいただきました。

「姫路高校の生徒たちは、本当に気持ちの良い挨拶ができる。これは良き伝統です。新高校にも、ぜひこの素晴らしい精神を引き継いでほしい」



私は深く共感いたしました。実は、私は毎朝校門に立ち、皆さんからたくさん元気を実感しているからです。

脳科学や心理学の世界では、快い挨拶を受け取るとストレスが軽減し、幸福感が向上すると言われています。また、挨拶は「私はあなたの存在を認め、大切に思っていますよ」という強力なメッセージでもあります。

校門での皆さんの姿は、まさに千差万別です。

ニコッと満面の笑みをくれる子、わざわざ立ち止まって一礼してくれる子、大きな声を張り上げる子。一方で、少し伏し目がちな子、友達との会話に夢中な子、時には挨拶を返せない子もいます。

私はそれで良い、と思っています。

生徒の皆さんの中には、人知れず悩みを抱えて登校してくる子もいるでしょう。誰とも話したくないブルーな朝だってあるはずです。挨拶とは、他人が強制するものではありません。

しかし、挨拶の言葉の語源を紐解くと、「挨（心を開く）」と「拶（近づく）」から成り立っています。つまり、挨拶とは「お互いに心を開いて、自ら近づき合う」という意味そのものなのです。

言葉にすれば、わずか1秒。コストは0円。

それなのに、人と人との繋がりを劇的に変えるパワーを持っています。ブルーな日があるからこそ、誰かの「おはよう」の一言に救われる瞬間が、きっとあります。

姫路高校が築いてきた輝かしい伝統を受け継ぎ、そして姫路市立高校としてさらなる未来へ。私たちのスローガンは「Go Beyond（超えてゆく）」です。

形だけの挨拶ではなく、お互いの存在を認め合い、心を通わせる新高校の文化を、皆さんと一緒に創り上げていきたいと考えています。

そのために、まずは私自身から・・・明日の朝は、今日よりも少し声を張り上げて、今日よりも笑顔で、そして今日よりも皆さんの心に寄り添う「優しい見守りの視点」で、校門に立ちたいと思います。